

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【公開番号】特開 2019-115862 (P2019-115862A)

【公開日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)

【年通号数】公開・登録公報 2019-028

【出願番号】特願 2019-87788 (P2019-87788)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 21 日 (2020.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域に対して発射された遊技媒体を受け入れ可能な始動口と、
前記始動口に遊技媒体が受け入れられたことに基づいて抽選を行う抽選手段と、
閉状態と開状態との間で動作可能な開閉部材を有し、該開閉部材が開状態にあるときに
遊技媒体を内部領域へと進入させる特定入賞口と、
前記特定入賞口の内部領域に進入した遊技媒体を、特定領域と一般領域とのいずれかに
誘導するように所定の振分け動作が行われる振分動作手段と、
前記振分動作手段により前記特定領域へと遊技媒体が誘導されたことに基づき、遊技者
に有利な遊技制御を実行可能な有利遊技制御手段と、
前記抽選手段による抽選にて特定の結果が得られた場合、前記振分動作手段による所定
の振分け動作に対し、前記特定領域へと遊技媒体が誘導されるように前記開閉部材の動作
にかかる制御を行う特定開放制御手段と、
前記特定開放制御手段による制御によって前記開閉部材の動作が行なわれている際に遊
技媒体が前記特定領域へ進入せず前記特定開放制御手段による制御が終了された場合、遊
技媒体が前記特定領域へ進入して前記特定開放制御手段による制御が終了された場合には
実行され得ない特定態様の報知を実行しうる特定報知実行手段と、
を備え、
前記特定報知実行手段は、前記特定開放制御手段による制御の終了後、所定期間に亘っ
て前記特定態様の報知を継続させるものであり、
前記特定開放制御手段により前記特定入賞口の開閉が行われるとき、前記開閉部材の領
域へと遊技媒体が流下するように発射が継続されてさえいれば、前記特定入賞口へと遊技
媒体が受け入れられるとともに必ず前記特定領域へと遊技媒体が誘導される
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

ところで、近年、このような遊技機では、遊技興趣の低下をより好適に抑制可能とすることが望まれていた。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 7

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 0 7 】

手段 1 : 遊技領域に対して発射された遊技媒体を受け入れ可能な始動口と、
前記始動口に遊技媒体が受け入れられたことに基づいて抽選を行う抽選手段と、
閉状態と開状態との間で動作可能な開閉部材を有し、該開閉部材が開状態にあるときに
遊技媒体を内部領域へと進入させる特定入賞口と、
前記特定入賞口の内部領域に進入した遊技媒体を、特定領域と一般領域とのいずれかに
誘導するように所定の振分け動作が行われる振分動作手段と、
前記振分動作手段により前記特定領域へと遊技媒体が誘導されたことに基づき、遊技者
に有利な遊技制御を実行可能な有利遊技制御手段と、
前記抽選手段による抽選にて特定の結果が得られた場合、前記振分動作手段による所定
の振分け動作に対し、前記特定領域へと遊技媒体が誘導されるように前記開閉部材の動作
にかかると制御を行う特定開放制御手段と、
前記特定開放制御手段による制御によって前記開閉部材の動作が行なわれている際に遊
技媒体が前記特定領域へ進入せず前記特定開放制御手段による制御が終了された場合、遊
技媒体が前記特定領域へ進入して前記特定開放制御手段による制御が終了された場合には
実行され得ない特定態様の報知を実行しうる特定報知実行手段と、
を備え、
前記特定報知実行手段は、前記特定開放制御手段による制御の終了後、所定期間に亘っ
て前記特定態様の報知を継続させるものであり、
前記特定開放制御手段により前記特定入賞口の開閉が行われるとき、前記開閉部材の領
域へと遊技媒体が流下するように発射が継続されてさえいれば、前記特定入賞口へと遊技
媒体が受け入れられるとともに必ず前記特定領域へと遊技媒体が誘導される
ことを特徴とする遊技機。
また、以下の手段を採用するようにしてもよい。
遊技領域に対して遊技媒体が順次に発射される発射手段と、
閉状態と開状態との間で動作可能な開閉部材を有し、該開閉部材が開状態にあるとき、
前記遊技領域のうちの特定の転動領域を転動し終わった遊技媒体の進入が可能とされる入
賞口手段と、
所定の始動条件が成立したに基づいて判定を行う判定手段と、
前記判定手段による判定の結果に基づいて図柄変動にかかると制御を実行可能な図柄制御
手段と、
前記図柄制御手段による図柄変動にて特定の停止図柄が現れたとき、前記入賞口手段の
内部領域への遊技媒体の進入が可能とされるように前記開閉部材の動作にかかると開閉駆動
制御を実行可能な特定駆動制御手段と、
前記入賞口手段に遊技媒体が受け入れられたとき、遊技者に対して賞を付与する賞付与
制御手段と
を備え、
前記特定の転動領域には、
前記発射手段により発射された遊技媒体が当該特定の転動領域を転動し終わって前記入
賞口手段に供給されるまでに要する時間を T 1、前記特定駆動制御手段による駆動制御に
よって前記入賞口手段の内部領域への遊技媒体の進入が可能とされる時間として用いられ
うる時間を T 2 とするとき、それらの関係が「 T 1 > T 2 」となるように前記発射手段に

より発射された遊技媒体と関わり合う球通路構造が設けられてなることを特徴とする遊技機。